

# 競技規則・競技方法・注意事項

**競技規則** (公財) 日本バドミントン協会競技規則 及び 大会運営規則に準ずる。

## 競技方法 (1) 団体戦

ア トーナメント方式による学校対抗(府県選抜チームも可)とし、3位決定戦は行なわない。

イ ダブルス1組、シングルス2組 の対戦を、下記の順序にて行なう。

試合順序	1	2	3
	D	S1	S2

注、DとS1、S1とS2は、兼ねることができない。

ウ 全試合とも 21点 3ゲームマッチ とし、2ゲーム先取 にて勝者とする。

ただし、いずれかが初回戦の場合は、勝敗が決していても全ての試合を行なう。(原則)

またその際のS2では、登録選手内にて、直前に出場選手を変更することができる。

エ DとS1を同時に実施する場合がある。準決勝以上では原則として同時に行なうが、この場合、引き続き行なわれるS2の試合途中で全体の勝敗が決すれば、その時点でS2を打ち切る。

## (2) 個人戦

ア トーナメント方式にてシングルス戦を行ない、3位決定戦 は行なわない。

イ 全試合とも 21点 3ゲームマッチ とし、2ゲーム先取 にて勝者とする。

## (3) その他

ア (公財) 日本バドミントン協会検定合格水鳥シャトルを使用する。

イ 主審・線審は、滋賀県が担当する。ただし、得点係は各チーム(各校)から1名を連れてコートに入る。なお、その人員がない場合は、試合前に大会本部(進行係)に申し出る。

ウ 出場(登録)選手の当日変更は、申し合わせの手順を経た上で、代表者会議にて認められる。

エ 同じ選手が続けて試合をする場合は、その間に10分間の休憩を設ける。

オ コール後、5分以内にコートインしない場合は棄権と見なす。

カ マッチ前の練習時間は取らない。審判員が到着しだい、すぐ試合を開始する。

キ ゲーム途中での水分補給(蓋付容器限定)は、主審の認める限りにおいて可能である。

ク 団体戦のベンチ入りできる者は、出場登録選手に加え監督など1名とする。ただし、混成チームにおいては、各校につき1名の付添者(引率教員)を認める。

ケ コート後方にコーチ席を2つ設ける。コーチ席には、ベンチ入りした者と事前に登録した者が座ることができる。並行試合を実施した場合は、試合が終了するまでコーチ席の交代等はできない。

個人戦のコーチ席には、2名(引率教員に加え部員等)が座ることができる。

今大会(滋賀)においては、団体戦時のコーチ席をベンチ席内に設けるため、ベンチ席内の2名がコーチとして助言できる。

## 競技上の注意事項

(1) 競技開始後は、コートが空いていても練習に使用することは認められない。

ただし、コールされた選手が実施コートで行なう練習は、主審が試合を開始するまでは可。

(2) タイムテーブル記載の試合開始時刻は目安である。進行状況やコールに注意しておくこと。

(3) 選手・コーチ・ベンチ入メンバーは、いずれも「申し合わせに規定された服装」であること。

(4) ベンチ入りは、団体戦・個人戦とも、出場選手に加え監督など1名とする。

ただし、混成チームにおいては、各校につき1名のベンチ入りを認める。

(5) コーチによるゲーム中の助言は、指定の席に着席して行なうこと。(インプレー時は不可)

また、選手が助言に聴き入るなど、時間の遅延や進行の妨げとなる行為は厳禁である。

(6) インターバルで助言できる者は、コーチ席に座っている者のみとする。また、必ずコートサイドで

- 行なうものとし、チェンジエンスを伴う際は、先にサイドを移動してから助言を行なうこと。
- (7) 傷病発生時の応急的対応は主催者にても行なうが、それに備えた必要十分な資材等の準備や、発生時および事後の処置対応は、当該校および各府県の主体的責任において行なうこと。